

平成30年安全大会開催

平成30年 6月26日(火)川越氷川会館において、「株式会社電成社 平成30年安全大会」を実施しました。当日は、弊社社員と協力業者様をあわせて、129名が参加しました。

冒頭山口社長より、7月から始まる労働安全衛生週間に向けて、今一度労働、安全意識について考えてほしいと呼びかけられました。

菅田安全委員長からは、無事故無災害記録が継続中であることについて、普段から皆さんが安全意識を持ち続けた結果である、と謝意を伝えられました。

安全委員会メンバーからは、1年間の活動報告がされました。パトロール巡回時に指摘した危険箇所の解説などを行い、参加者への注意喚起をしました。さらに、クイズ形式で熱中症についての理解を深めました。

武藤支店長より、「電成社 現場災害対応マニュアル」の発表がありました。現場災害発生時の対処方法の流れ、けがをした際の応急処置の方法などについて解説しました。

次いで今回ご臨席賜りました川越警察署交通課長 本多警視より、交通事故日報を用いて事故の傾向などを分かりやすく説明していただきました。さらに、当日配付資料「きらめき3H運動」についても解説していただきました。夕暮れ時の早めのライト点灯、横断歩道の手前での一時停止などを、特に強調されていました。



さらに、6名の社員が永年勤続表彰を、また労働災害防止など総合評価の高かった現場作業所チーム及び職長に対して特別表彰が行われました。そして前回安全大会以降入社した新入社員の紹介も行われました。

続いて、基本指針と安全衛生管理目標が発表され、参加者全員の安全に対する意識を高めました。

基本指針:

「新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」

安全衛生管理目標:

「一人KYを定着させ、さらにもう一步進化させ 危険の芽を摘み取る 継続させよう ゼロ災害」

後半は、(一財)日本ペップトーク普及協会 専務理事である 浦上 大輔さんを講師としてお招きし、「安心・安全な職場をつくる前向きな言葉「ペップトーク」」と題してお話いただきました。

ペップトークとは、試合前に監督やコーチが選手に対して行う「短く」「わかりやすく」「肯定的な」「魂を揺さぶる」勇気づけのショートスピーチです。これを職場に導入することで、コミュニケーション能力の向上、メンタルヘルスの改善、仕事のパフォーマンスを上げることにつながる、と説明されていました。

人にやって欲しいことを依頼する時、ついつい否定的な言葉を使いがちです。しかし、こうなって欲しいという言葉で伝えることによって、相手は最大限の力を発揮することができます。(例:ミスしないでね→成功してほしい)

講演後には、今までの言葉のかけ方を参加者達同士で確認している姿があちこちで見受けられました。また、叱って伸ばす、背中をみて育つというやり方は、見直すべきだという声も多く聞かれました。

